

リフレッシュ

996

Refresh

特集編

ド初期モデル[98年式]過走行ポルシェ996

996リフレッシュ計画も完成まであとわずかとなってまいりました。

ところで、一大決心。最後に一大プロジェクトをチ上げて、この企画を終了させたいと思います。

996を997にする。果たして996は、完璧997顔になるのでしょうか!?

文●半谷範一(P44-51)撮影●森口信之
取材協力●スピードジャパン TEL:03-3555-8865 http://www.speedjapan.co.jp
南日栄自動車商会 TEL:024-534-9680 http://auto.jocar.jp/nichiei/

ポルシェの疑問に
真っ向勝負!

ポルシェA

996が997に
なりますか?

タイプ996.5に挑戦 まずはコンバージョンキットを試す!!



これがアメリカの某メーカー製のキットを被せてみたところ。このキットは左右のフェンダーとフロントバンパーの3点セットになっており、ヘッドライトやマーカー類は997用の純正パーツを使用するようになっている。正面から見ると、一応それらしく付いているように見えるのだが、現実にはボルトオンで装着することは絶対不可能。仮にこれを大改造して装着したとしても、到底ポルシェのクオリティに仕上がるとは思えない。さてどうしよう。メーカーの広告の写真では、ちゃんと装着しているように見える写真が出てはいるのだが、どう考へてもこのキットを装着したとは思えない。



A 海外のホームページで検索
でも出来映えは???ですね

アメリカ、ドイツ、イギリス、フランスなどのショップがコンバージョンキットを販売しており、今回はアメリカのショップが出しているキットを購入しました。海外のホームページなどを見ると、これと良く似た製品を掲載しているショップが複数見つかると思いますが、実際にはすべて同じ所で作っているようです。他の製品は見たことがないので、その出来映えに関するコメントは控えさせていただきますが、この製品に関してはかなりの技術を持った工場で大改造をして、ようやく組みつけることができるという程度のレベル。メーカーの広告に出ている写真は、恐らく実際の製品を組み込んだものではなく、マスターとしてワンオフで製作したものだと思います。



違う角度から見るとこの通り。フードの位置に合わせてしまうと、このように大きくなじめてしまう。フェンダーの横に立っているのは実際にこの作業を担当することになった中村英幸さん。「うん、これを着けたなら、最初から作ったほうが楽かもしれない」と顔をしかめる。

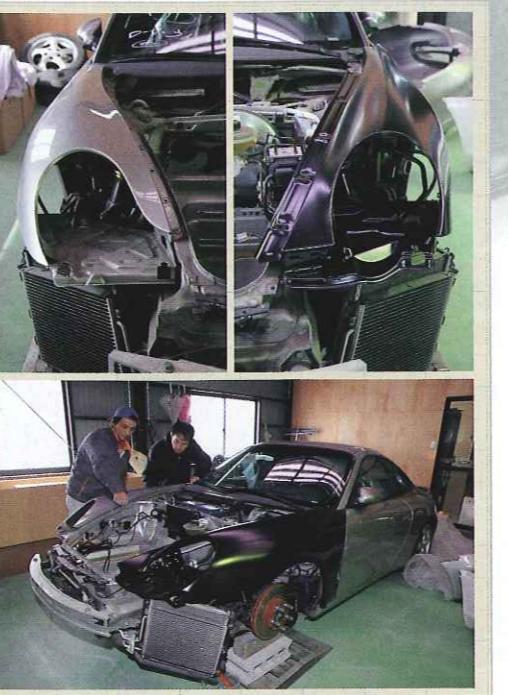
上海手く996.5になるのか?
実はこの企画の趣旨は、過走行でや
い雑談が発端だった。
本来この企画の趣旨は、過走行でや
レ切った中古車を、OEMのパーツを
使ってリフレッシュさせるというもの
にして怪しげなクルマであり、まさに
このような企画に最適のようと思われ
た。しかし、実際に蓋を開けてみると、
このクルマは予想以上に程度が良好く、
メカ的な部分に関してはもうほとんど
やることがなくなってしまった。

Q 996と997の純正フェンダー&バンパーって
どこが大きく違うの?

A よーくよく見比べて初めて分かった
996と997は完全に似て非なるクルマです



読者の皆さんの中には、997の顔は996を丸目にモディファイした程度で、純正のフェンダーを使ってあまり大きな改造をしなくても装着できるのかも? と思っている方がいるかも知れません。しかし現実はまるで違っています。左の写真は上から997の純正バーツ、今回取り寄せたコンバージョンキット、996純正バーツですが、996と997とではフロントフードに当たる部分の形状が全然異なっています。ドアの形状もまったく異なっているために、フェンダー側面の形状も別物です。結局のところ、この両車の共通部分は全然ありませんでした。



半谷 「困りましたねえ、あとはもう内
外装くらいしか残っていないけど、GT
3仕様にするとかじゃ脳がないしね」
編集部Q 「じゃ、いつそ997仕様に
しちゃいましょう。事故車とニコイチ
にでもして(笑)」
編集部Qの発言はもちろんジョーク
だ。しかし、小澤氏のリアクションは、
我々が予想しないものだった。
「そういえば海外に996を997風
にするキットがありますね。面白そ
うだな。さっそく取り寄せてみます」
こうして996を997にするプロ
ジェクト、名付けて996・5化計画
がスタートしたのだった。

Q 997仕様にしてくれる
SHOPはどこ?



A 福島県にこの店あり!
その技術は神業があ!

有限会社日栄自動車商会

住所 〒960-8076 福島県福島市上野寺字東18番地の4
TEL 024-534-9680
FAX 024-535-2710
営業時間 8:30~19:30
e-mail nichiei@isis.ocn.ne.jp
http://auto.jocar.jp/nichiei/



ここが今回の作業をお願いした日栄自動車のファクトリー。このキットをそのまま使用することは到底無理なので、鈴木敏春専務を交えて今後の対応を相談することにした。やはりどうせやるからにはポルシェにふさわしいクオリティに仕上げたいという意向があるので、このキットをベースにすることは無理そうだ。やはり996か997の純正フェンダーを改造して装着するしかなさそうだ。



ポルシェ
996
Refresh
計画

リフレッシュ

計画

特集編

ド初期モデル[98年式]過走行ポルシェ996

アメリカから取り寄せたコンバージョンキットの出来映えが予想以上に悪いことに気づき、さてどうしたものかと日栄自動車商会の鈴木敏春専務と製作担当の中村英幸さんが困り顔。こうなったら次の手段、997の純正パーツで造り込みしていくしかないかも。こうして試行錯誤の末、996.5化計画は再スタートをきった。無事装着できるかな?

撮影&取材協力●(株)スピードジャパン TEL:03-3555-8865 http://www.speedjapan.co.jp

(南日栄自動車商会 TEL:024-534-9680 http://auto.jocar.jp/nichiei/)

Q&A

ヘッドライトは何を使うのですか?

流用できる物があればいいのだが、とりあえずは997純正を使用



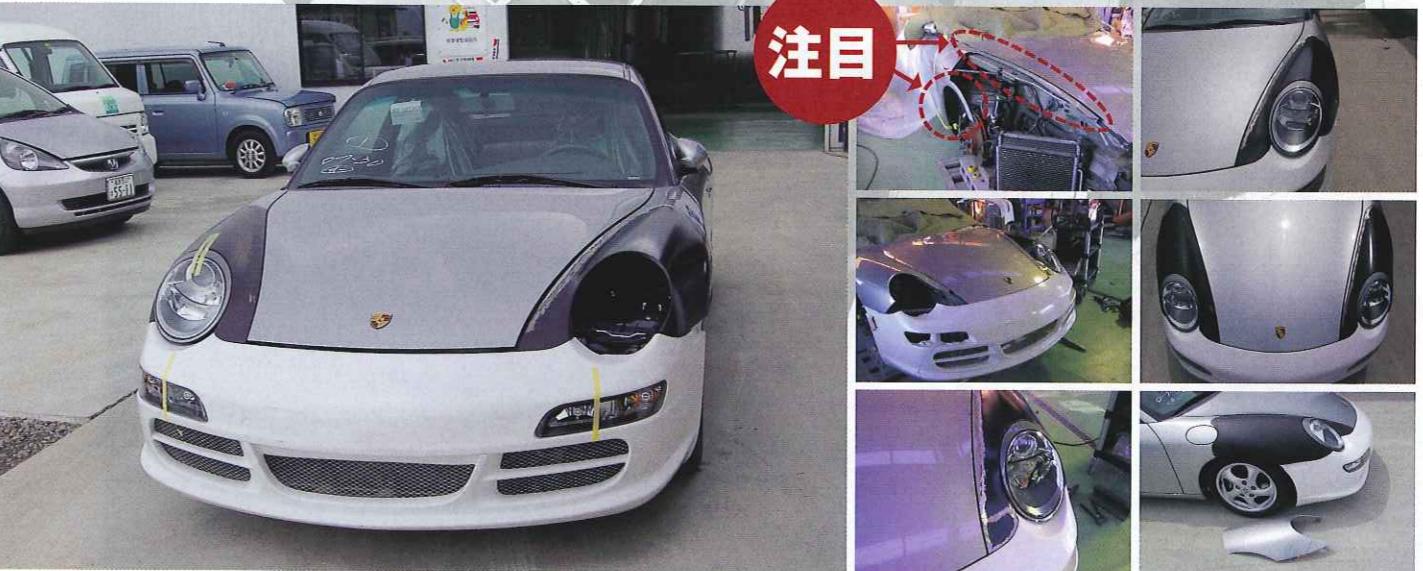
最初に購入したキットでも、ヘッドライトは997用の純正を使用するようになっていました。そこで、今回の996.5仕様に関しても、純正のヘッドライトをそのまま使用するということで計画を進めています。流用できる物があれば良いのですが、最近のヘッドライトは車種ごとに細分化されているために、残念ながら(?)現状では純正品を使用するしかありません。しかし、このヘッドライトの難点は非常に高価なことです。詳しくは下のQ&Aにて。

997の純正フェンダー＆バンパーだと、簡単に上手に996に装着できますか?

コンバージョンキットを諦め 997純正パーツで再チャレンジ!!

ポルシェの疑問に
真っ向勝負!
ポルシェQA

注目



これが996と997のフェンダーを接合したときの作業を撮影した写真。左上の写真を見ても分かること、フロントフードに接する部分やフェンダーアーチ部分は996のフェンダーが生かされ、これに複雑に切り取った997用フェンダーの前端部分を接続するという方法を採用している。苦心してこの切り方を考え出したのは中村さんだが、確かにこの方法を知っている、かなり高度な技術を持った職人さんでなければ真似はできない。また、仮にその技術があったとしても、実際の手間を考えれば真似しようとする人はいないかもしれない。右フェンダーにフューエルリッドがあり、全体の形状がそれによって規制されてしまうのも問題点だった。ライトの内側とフード、バンパーに挟まれた部分は、新しく作っててしまうことにした。

996と997ってフェンダーの盛り上がり方違いますよね?

そこに気づいている人は日本で7人くらいです(笑)

正直に話してしまうと、この企画がスタートした当初はまさかこのコンバージョンの作業にこんなに手間が掛かるとは思っていませんでした。さすがに既製品のキットを買ってきてボン付けすることができるのは思っていましたが、純正フェンダーの形状がこれまでに大きく異なっているという意識はなかったのです。恐らく、今回のように996を997仕様にモディファイする方が、930を993仕様にモディファイするよりも大変な作業ではないでしょうか? 残念ながら手間と時間に関しては、よく分からぬといふのが正直なところです。こういった作業は時間があってもちゃんとした技術のある職人さんでなければ完成させることができませんし、たとえ技術があって完成させることができたとしても、センスが良くなければ違和感の残る物しか出来上がらないからです。今回は日栄自動車の鈴木敏春専務から強力なバックアップを受けることができ、中村英幸さんがほんかかりっきりになつて作業を進めてくれましたが、それでも一応の形が出来るまでには約1ヶ月ほど掛かっています。しかし、実際の作業の内

容を見ると、それでも驚異的に早いというのが率直な感想です。恐らく、普通の板金修理工場に同じ作業を依頼しても、引き受けてくれるところはほとんどないでしょ。

もうひとつの費用の問題ですが、これに関しては現段階ではまったく分かりません。ボディーパーツに関しては、純正フェンダーを使用したとしても20万円程度で取まりそうですが、ヘッドライトの価格は想像以上に高いものでした。ライト本体が片側15万円ですが、ディスチャージタイプなので約5万円のアンプが必要で、それが2組必要です。さらにバンパーに装着するライトやマーカー類まで含めれば、灯火類の部品代だけで50万円以上掛かってしまうことになります。さらに板金塗装には高度なワザを持った職人さんに1ヶ月以上上勤いてもらう工賃を考えると、さすがに本物の997が買えるほどはないませんが、気軽にお願いできるようなレベルの金額にはなります。しかし…それはあくまで今回のようにワンオフで製作した場合の話。オイシイ話の続きは次回のQ&Aをご覧ください。

その通りです。996と997を並べてみると、996は前面が丸みを帯びていて、997は前面が角張っています。これは996のフェンダーと997のフェンダーを組み合わせた写真です。映り込みを気にしていただけお分かりのように、フェンダーの凸部の頂点の位置は、ホイールのセンターよりもかなり前寄りの位置にあります。それにしても、996のフェンダーの場合、997のフェンダーの場合、どちらもセンターハーフの凸部の頂点が同じようにデザインされています。こういった形状は、全体の流れを考えながら決定されているため、997の場合には全然違和感のない物となっています。しかし、後半部分に996のフェンダーと接合したこのクルマの場合、フェンダーの前端でそのラインが不自然に歪むという現象が発生することになりました。実際には取り付け自体はちゃんと着いていましたが、この写真のような角度から見ない限りは気付かない範囲でもあったので、当初はそのまま作業を続けることも考えられました。しかし、スピードジャパンのスタッフも実際に作業を担当した中村さんも、やはり996でこの盛り上がり方は不自然だということ、再度一からやり直すことになりました。その結果出来上がったのが下の写真です。ご覧の通り、不自然なラインは完全に消え去りました。どうやって修整したのか? それについては次回のQ&Aをご覧ください。

まず最初に、997の方がフードが短い上に形状がまるで異なるつていう。ドアとフェンダーの間に55mmもの隙間が空いてしまう。フェンダーアーチのオープニング部分も997の方が25mmほど前方にずれている。ライトを取り付けている角度が996と997では異なっている。フェンダーの張り出しが大きくなっていることが判明する。

そこで次のステップとして考えられたのが、キットの部品はバンパーのみを流用し、フェンダーは純正の997用フェンダーを流用するという方法だ。しかし、前頁にも書いた通り、実際に997用の新品フェンダーを取り寄せてみたところ、996と997のフェンダーの形状は予想以上に大きく異なることがある様だ。

元に対しても、(フレームではなく)率直に状況を説明したという。それに対するメーカーの回答は、「新しい物に作り直して再度送る」という誠意を感じられるものだった。そして、メーカーではちゃんと約束を守つてパーツを送ってきた。しかし、残念ながら再度作られたはのバーツも、やはり我々が期待していたようなもの、つまり小加工程度で装着が可能な物とは程遠い内容だった。やはり当初の作戦を見直す必要がある様だ。

そこで次のステップとして考えられたのが、キットの部品はバンパーのみを流用し、フェンダーは純正の997用フェンダーを流用するという方法だ。しかし、前頁にも書いた通り、実際に997用の新品フェンダーを取り寄せてみたところ、996と997のフェンダーの形状は予想以上に大きく異なることがあることが判明する。

内に、996.5化計画ついに頓挫か??

Q ヘッドライトは何を使うのですか?

A 流用できる物があればいいのだが、とりあえずは997純正を使用

Q どのくらいの手間と時間と費用がかかるのですか?

A 手間も費用も膨大……でも安心その理由はP49下段のQAで!!

Q 996と997ってフェンダーの盛り上がり方違いますよね?

A そこに気づいている人は日本で7人くらいです(笑)

ポルシェ 996 Refresh 計画

リフレッシュ
特集編

ド初期モデル[98年式]過走行ポルシェ996

下の写真のポルシェ、もうほとんど997の顔でしょ? もう完璧っぽいでしょ?
996.5化計画がスタートし、まずはコンバージョンキットを試したがため。
次のステップで997の純正フェンダーを使って製作して、ようやくここまで来た。
残す作業は細部の微調整のみだが、ここからがまた職人のワザが冴え渡るのだ。

撮影・村上 豊
取材協力・株スピードジャパン TEL:03-3555-8865 http://www.speedjapan.co.jp
(有)日米自動車商会 TEL:024-534-9680 http://auto.jocar.jp/nichiei/



ポルシェの疑問に
真っ向勝負!
ポルシェQA

Q 完成するのはいつですか?
キット化して売り出したりはしないのですか?
Aもちろんキット化して販売しますよ
でも販売価格や発売時期はまだ未定

このサイドスカートも
作ったのですか?

Q今回の特集でもお世話になった
ガレージエウルさんとこの製品



この撮影時に装着されていたサイドステップは大阪のポルシェ専門店、ガレージエウルさん
(tel:072-333-9110)からご提供いただいたオリジナルバーツ。仮付けて見たら、997仕様の
フェンダーに良く似合うことが分かりました。他にも色々なものを製作されているので、気になる
方はホームページをチェック。アメリカ製のキットもこのくらいのクオリティなら良かったのに。

やつぱりこういう作業には
センスが大事だなあ! を再確認

上の写真はP44の写真から約2カ月

後に撮影したもの。サブエアーサーが塗

つてあるのは、その方が私たちが見た

ときに余計な物(つなぎ目やパテの痕

など)が目に付かないでの分かりやす

いだろうという配慮だ。

P47のQAにも書いた通り、一度は
フェンダーを取り付けたのだが、やは
りフェンダーの前端部分でラインが大
きく乱れるのは不自然ということで、
もう一度やり直している。具体的な修
整作業としては、フェンダーの峰のラ
インに沿った形で前後方向に切開し、
その部分の幅を詰めて溶接し直すとい
う高度な技が使用されている。この作
業により、フェンダーの前部にあつた

6と同様に、ホイールの中心位置とラ
エンダーの凸部の頂点がほぼ一致する
ようになっている。
P47の下側の写真をご覧になつて
いただければ、フェンダーの前端部分まで
きれいにラインが通っていることが分
かってもらえるに違いない。

我々としては、ここまでくればあと
一歩のような気がしていた。しかし鈴
木専務は「本当に大変なのはこれから
なんですよ」と笑う。中村さんも「こ
の段階で約60%くらい。これから細か
い所をまとめます」とのこと。

よく観察すると、クルマのボディに
は様々なラインがあることが分かる。
それが途中で切れていたり、不自然に
曲がっていたりすると、たどえチリが

ピッタリ合っていたとしても、見る人は違和感を感じてしまうのだ。

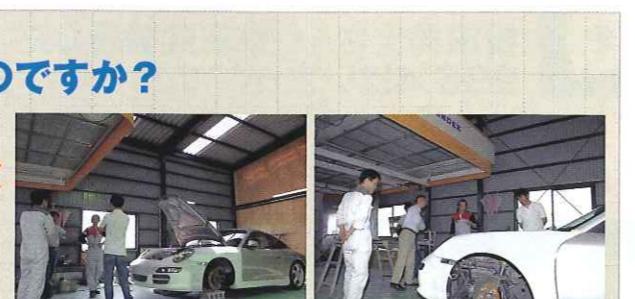
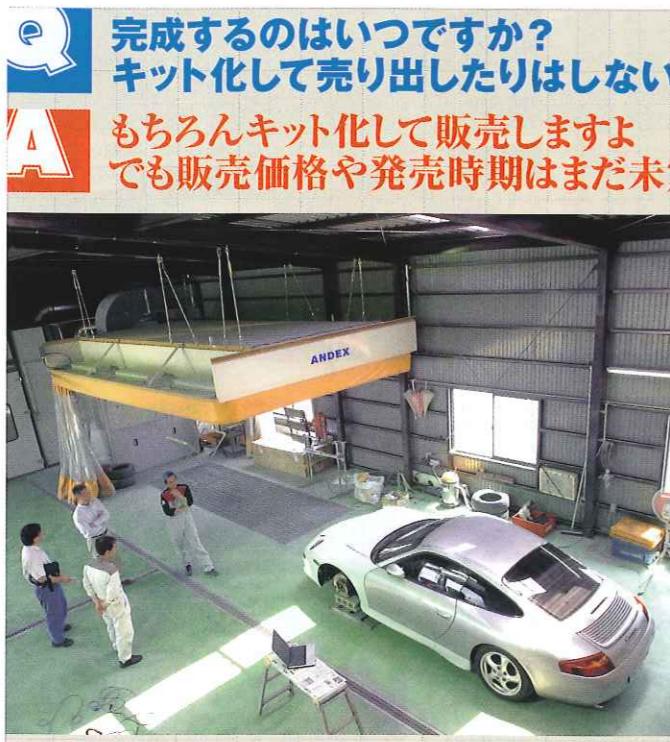
私たちの取材の間も、中村さんはラインの上にマスキングテープを貼り、修整しなければならない部分はどうなつか検討を続いている。「本当はこのラインは、この延長線上にこなくてはいけないので、こう繋がっているは

ずなんです。だから、この部分をもう少し出さないと」といった具合だ。

作業には、センスが必要なのだと。作業を突き抜けられた瞬間だった。写真では分からぬと思うが、パンパーとフロントフードの先端は、あえてツライチではなく、若干の段差とRを付けて合わせることにした。その理由に関しては、QAをご覧になつていただきごとにしよう。



パネルのフィッティングに関してはほぼ終了しているので、今後はディテールの作業になります。中村さんとしては、ヘッドライト周囲のRの部分や、サイドマークー部分の段差、ホイールアーチ部のライン等々、気に入らない部分が沢山あるようなので、まだこれから先も色々と細かい修正が入ることでしょう。ヘッドライトはもちろん、マークー等の灯火類もまだ仮付けしたままの状態なので、本格的な取り付け作業はこれからになります。ちゃんと点灯するようにすることはもちろんですが、ヘッドライトには光軸の問題などもあるので、きちんと仕上げるためにそれは



すでにいくつかのQの答えとダブってしまっているのですが、スピードジャパンではこの996.5仕様のフェンダーをキット化して販売する計画を持っています。今回の企画でこれほどまで時間がかかってしまった理由のひとつは、キット化するときに都合が良いようないいことを考慮しながら作業を行なつたためでした。例えば、本文中に書いたフロントフードとバンパーの件も、キット化して量産化したときのクオリティを保つための措置でした。最初からワンオフで作るつもりであれば、ツライチでビシッと揃えてしまつても良かったのですが、不特定多数のクルマに装着しようとすると、個体差があるのでかえって面倒なことになるからです。実際のキットに関しては、このクルマを試

詳しく述べスピードジャパンまで直接お問い合わせください。

Q 後はどんな作業が残っていますか?
**A 各部のチリや段差の修正
灯火類の本格的な取り付けです**



パネルのフィッティングに関してはほぼ終了しているので、今後はディテールの作業になります。中村さんとしては、ヘッドライト周囲のRの部分や、サイドマークー部分の段差、ホイールアーチ部のライン等々、気に入らない部分が沢山あるようなので、まだこれから先も色々と細かい修正が入ることでしょう。ヘッドライトはもちろん、マークー等の灯火類もまだ仮付けしたままの状態なので、本格的な取り付け作業はこれからになります。ちゃんと点灯するようにすることはもちろんですが、ヘッドライトには光軸の問題などもあるので、きちんと仕上げるためにそれは

Q 完成するのはいつですか?
キット化して売り出したりはしないのですか?
Aもちろんキット化して販売しますよ
でも販売価格や発売時期はまだ未定



すでにいくつかのQの答えとダブってしまっているのですが、スピードジャパンではこの996.5仕様のフェンダーをキット化して販売する計画を持っています。今回の企画でこれほどまで時間がかかってしまった理由のひとつは、キット化するときに都合が良いようないいことを考慮しながら作業を行なつたためでした。例えば、本文中に書いたフロントフードとバンパーの件も、キット化して量産化したときのクオリティを保つための措置でした。最初からワンオフで作るつもりであれば、ツライチでビシッと揃えてしまつても良かったのですが、不特定多数のクルマに装着しようとすると、個体差があるのでかえって面倒なことになるからです。実際のキットに関しては、このクルマを試

詳しく述べスピードジャパンまで直接お問い合わせください。

ポルシェ
996
Refresh
計画

リフレッシュ
特集編

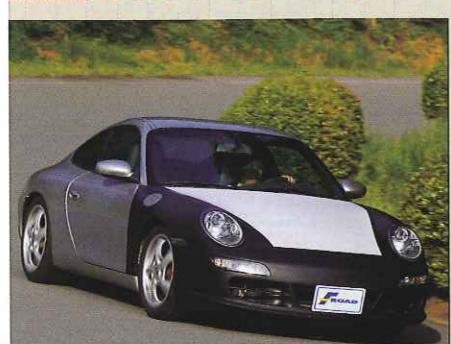
ド初期モデル[98年式]過走行ポルシェ996

997と比べてみると
どんな感じですか?

車高調装着後の初試乗&
そしてついに996.4達成!!

武井寛史さん、車高調装着した
996.4はいかがです?

A タイヤやドライビングスタイルによって
自分に合った調整が楽しめるサスケットかも



走り出して直ぐに感じたのは、乗り心地が柔らかいこと。正直、本当に交換したの?って感じだった。通常、車高調とか入れると多少の突き上げ感があたりして、いがにも「硬くちやひました」的なフィーリングがある。でもこの足回りは至ってマイルド。ノーマルに近い乗り心地だ。コーナーでの印象は、全体的にロール感はあ

るもの、旋回性は前回より向上している。以前はターンイン時の応答性が良いわりには、ある一定域を超えると急にグリップが抜ける若干アンダーアシスト傾向。でも今回セッティングされた足回りは、ステアリングを切った分だけ確実に反応してくれる。例えばコーナーの途中でステアリングを切り足ししてもグリップが抜けずちゃんと曲がってくれるのだ。さらにトランクションを掛けるとクルマの姿勢が安定して、コントロール性も向上していた。まあ、ロール感はあるものの悪くはない、タイヤにマッチしたセッティングといった感じだ。これ以上硬くするとタイヤのキャパシティを越える可能性がある。

現状のセッティングを聞いたところ前後ともミディアムセット(中間)との事だった。ミディアムだと、ロール量&ストローク量が大きいので多少の不安感がある。とはいえたマシンコントロールが上手い人であれば問題ない程度。もしハンドルに攻めるならば、もう少し車高を落として、ショックの減衰力を上げればさらに良くなるはず。装着するタイヤやドライビングスタイルによって自分に合った調整が楽しめるサスペンションキットといえる。そういうえでブレーキのタッチが飛躍的に良くなっているのにビックリ。効きも良くなり、ブレーキのコントロール性も向上していたのでまったく不安がない。企画意図どおり、996は確実にリフレッシュされているんだと実感した。

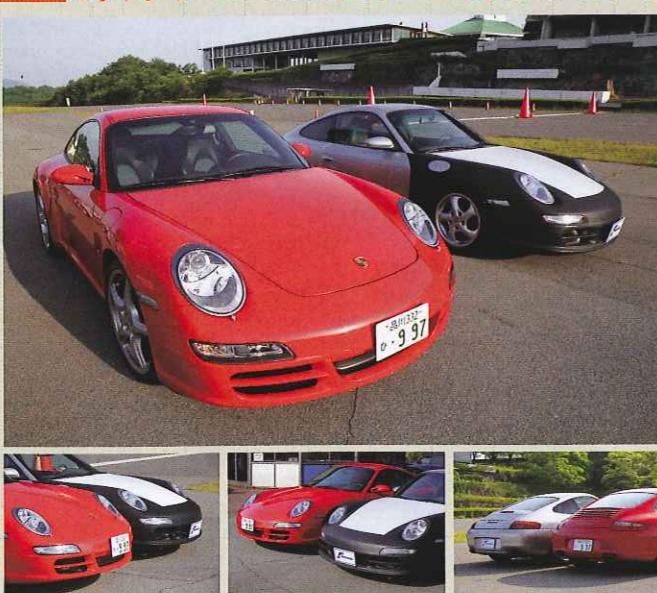
私自身は996の短いフロントフードが、997と並べたときにどう見えるのか気になっていたのだが、その点ではまるで違和感なかった。恐らく、街中を走行しているこのクルマを見て、997ではなく996であることを見抜ける人はほとんどいないのではないか?

たまたま比較用の997にオプションのBBS製19インチ鍛造ホイールが装着されていたこともあり、996・5の足元がちょっと弱々しく見えてしまうか?

997に近付けることも可能なようですが、個人的にはナンバープレートの位置を上げる程度で十分だと思った。ドアミラーなどを交換すればさらにこれで割安感のある価格でキット販売されば、かなり魅力的な存在のよう思われるだろうか?

こうして2台比べてみると、どこがどこが違いますか?そして今後の展開は?

A どちらが997でしょうか?
来月号では996.5すべてを見せます!



この企画が始まるまでは、997のスタイリングは996を丸めにして細部を変えた程度だと思っていました。しかし、それは大きな誤りでした。こうやって並べてみて分かるのは、フェンダーのラインが大きく異なるということです。997の方が明らかにボリューム感があります。一応は996と997の幅の差は4cmほどということになっていますが、その差ははっきりと分かります。996と997ではフロントフードの形状が異なり、長さも997の方が長くなっています。996.5ではバンパー辺りがやや重い印象になっています。ハーマンが出しているキットでは、バンパー部分にGT2のようなインテークを設けることで隠していますが、こうやって並べて見る限りではそこまでは必要ない気がしました。タイヤ、ホイールに関しては、996の17インチではさすがにイメージが弱いといううのが正直な感想。997用の19インチが理想ですが、それが無理にしてももう少し外側に出さないと格好悪い気がします。リアの形状はマーカーの位置などを含めて大きく異なるのですが、知らない人に「どちらが997でしょう?」と聞いても、答えられない人の方が多いと思います。ミラーの形状も異なっていますが、これに関しては今まで気に留めていませんでした。とりあえず、大きな違和感を感じる部分はなかったので、そのままキット化に向けての作業が開始されるでしょう。

半谷範一さん、車高調装着した
996.4はいかがです?

A 車高調装着の弊害は
NANKANGタイヤに現れた!



走りだして最初に感じたのは、こちらの操作に対して挙動がはっきりと出るようになったという点。オリジナルの996のサスペンションが持っていたあのダルな感じは完全に払拭され、スポーツカーらしいキビキビとした運転を楽しめるクルマとなった。今回はスペアタイヤを降ろしていたり、軽量なバンパーを装着しているため、走り始めるまではちょっと頭が軽すぎるんじゃないかな?と不安になっていたが、実際には全然そんな心配は必要なかった。十分に荷重が掛けきれないような状態で舵角を入れても、スッときれいに頭が入ってくれる。ちゃんとロールする分かりやすい足なので、きちんと荷重移動を利用してメリハリのある運転をするというタイプの人なら、きっと自由自在に振り回して遊ぶこともできるだろう。しかし、実はこのサスペンションキットを組み込んだことで、ひとつ困ったことが起きました。現在装着しているNANKANGのタイヤでは完全に性能を使いつぶしてしまったため、役不足を感じようになってしまったのだ。私のような素人のドライバーが軽く流しているような状況でさえ、ちょっと油断すると簡単にオットrottというような状況になってしまふ。限界が低くて安全という言い方も出来るのかもしれないが、日常の足として使うという場合には気が抜けなくて苦痛に感じると思う。サスペンションのボテンシャルが上がった分だけ、タイヤに関してはもうちょっとだけグレードアップさせてバランスを取ってあげた方が良さそうだ。今回は車高は前後とも15mmしか下げていなかつたし、減衰もとりあえず中間の位置にセッティングしてあるといった状況だったが、せっかくだから自分で色々と試して好みのセッティングを探すのも面白いだろう。

またが、それはホイールサイズを拡大すれば全然気にならないと思う。純正の18インチの中古なら、今なら結構安く入手できるはずだ。

ドアミラーなどを交換すればさらに997に近づけることも可能なよう

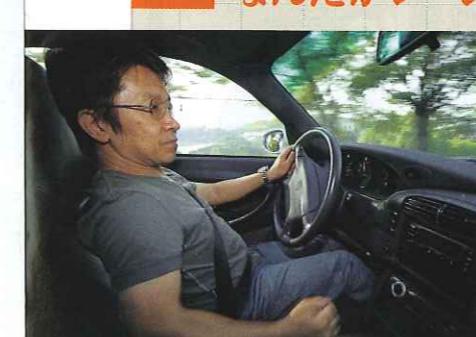
うが、個人的にはナンバープレートの位置を上げる程度で十分だと思つた。

これまで割安感のある価格でキット販売されれば、かなり魅力的な存在のよう思われるだろうか?

ポルシェの疑問に
真っ向勝負!
ポルシェA

松田秀士さん、車高調装着した
996.4はいかがです?

A あっちが良くなれば、こっちが…!
なんだかレーシングカーの世界みたい



この前とかなり印象が変わったなあ。まず、ブレーキが自然なフィーリングになった。以前は、もっと唐突に効き始める印象があって、そのときはそのときでスポーティに感じたかもしれないが、きちんと直すと前後の効き始めのバランスが取れていてしっかりと効くようになった。それとサスペンション。やはり、以前のものは相当くたびれていたよ。交換したものが純正ではないけれども、

996と997の純正フェンダーにコンバージョンキットのバンパーを上手く加工し、四苦八苦に試行錯誤の末、ようやくここまで完成した996.5化計画の996。先月装着した車高調の乗り心地チェックと合わせ、現段階の状況をお届けする。

撮影●森山良雄(走行シーン) 森口信之(メイン写真他)
取材協力●(株)スピードジャパン TEL:03-3555-8865 http://www.speedjapan.co.jp
(株)日栄自動車商会 TEL:024-534-9680 http://auto.jocar.jp/nichiei/



これ一台だけで見ると凄く良くできているように思うんですけど、でも本物の997と並べた996・5は確かに和感とかあるんでしょうか?ほぼ仕上がった996・5は確かに街中で見かけたら誰も気づかない996・5。撮影場所に現われた996・5は確かに和感とかあるんだ。製作途中でフェンダーとバンパーがマットブラックにペイントされていましたが、なかなかわからず。撮影部Qはそうつぶやいた。しかし、だからといってどこかに不自然な印象を受けたかったかといえば、答えはノーハイだったのだ。製作途中でフェンダーとバンパーがマットブラックにペイントされていましたが、なかなかわからず。

そんぐらい違和感ない996・5